

第5章・楽しい旅を演出する会話術ネタ集

1. 电线杆上的红白色箭头

看过电影《非诚勿扰》的游客可能已经知道，这些树立在道路两边的箭头的主要功效，是标示道路宽窄。箭头的专业名称叫做“固定式视线诱导柱”，在夜间以及冬季吹雪时，可以为司机指明道路、避免交通事故的发生。这些箭头也是雪国北海道特有的一道路边风景。

据称，每一根箭头的造价都在 20 万日元到 30 万日元之间。因此一旦出现交通事故，对这些箭头造成破坏的话，赔偿金额也是相当高的。

1. 電柱上の紅白の矢

「狙った恋の落とし方。」を観たことのあるお客様は、この道路の両側に立っている矢印が道路の広さを示すものということを知っているかもしれません。矢印は専門用語で「固定式視線誘導柱」と呼ばれて、夜間及び冬季の吹雪時の運転手に事故の発生を防ぐ為に道路を明示しています。雪国北海道特有の道路脇の風景でしょう。

一本の矢印が 20 万円から 30 万円するそうです。交通事故で壊したりすると弁償額が結構高いです。

2. 颜色不同的汽车车牌

日本的机动车车牌有四种颜色——白色、黄色、绿色和黑色。颜色的差异主要是根据车的用途和排气量的不同划分的。

一般而言，私家车的车牌颜色是黄色和白色，排量在 0.66 升以下的为黄底黑字；0.66 升以上的为白底绿字。货车或者出租车等业务用车的车牌颜色为黑色和绿色，排量在 0.66 升以下为黑底黄字；0.66 升以上的为绿地白字。

此外，从 1999 年起汽车的车牌号码也变得可以自由选择。车主可以按照自己的喜好，选择四个喜欢的数字组合。而且，因为日本人对“6”和“8”等数字没有特别的喜好，所以大多数中国人喜欢的“1688”、“8888”等吉利车牌号，和其他的号码一样只需几千日元就可以申请到。不知道这会不会让中国车主比较羡慕呢。

2. 色の違う車のナンバープレート

日本の自動車のナンバープレートは 4 色あります。白、黄色、緑、黒。これは主に車の使用目的と排気量によって分けられています。

一般的に自家用車のナンバープレートは白か黄色で、排気量が 660cc 以下の自家用車は黄色地に黒の文字で、660cc 以上の白地に緑の文字で、貨物車やタクシー等の営業車の場合、排気量が 660cc 以下では黒字に黄色い文字、660cc 以上は緑字に白い文字で書かれています。

この他 1999 年からナンバープレートの番号が自由に選択できるようになりました。車のオーナーは自分の好みによって好きな 4 つ数字の組み合わせができるようになりました。日本人は 6 や 8 等の数字が特別に好きなわけではないので、多くの中国人が好む 1688 や、8888 等のラッキーナンバーは他の番号と同じく数千円で取得することができます。中国人にはうらやましいでしょうか。

日本のナンバープレートの分類

白地緑字 ：自家用 緑地白字 ：事業用	1、10～19、100～198	普通貨物車（トラック）
	2、20～29、200～298	普通乗合車（バス）
	3、30～39、300～398	普通乗用車 （定員10名以下、排気量2000cc超）
	4、40～49、400～479	小型貨物車（排気量2000cc以下）
	5、50～59、500～579	普通乗用車（排気量2000cc以下）
	7、70～79、700～777	普通乗用車（排気量2000cc以下）
0、00～09、000～098	建設機械	
黄地黒字： 自家用（軽） 黒地黄字： 事業用（軽）	40～49、480～498、680～698 50～59、580～598、780～798 80～89、880～898	軽自動車（排気量660cc以下）

* レンタカー用のひらがなは、「れ」と「わ」で表されています。

* 租赁车的日文平假名表示，为“れ”和“わ”。

3. 女孩 16 岁，男孩 18 岁就可以结婚

日本の法定結婚年齢早于中国。按照日本相关的法律规定，女孩满 16 周岁，男孩满 18 岁即可结婚。不过，因为日本的成人年龄为 20 周岁，所以如果是不满 20 岁结婚的话，必须先征得父母同意。

但实际上，日本选择晚婚的人越来越多，导致现在日本的平均结婚达到 30 岁左右。同时，在农村地带则面临严重的“结婚难”的问题。中国女性嫁过来做“国际新娘”的事例屡见不鲜。

3. 女性は 16 歳、男性は 18 歳で結婚できます。

日本の法律で定められた結婚できる年齢は中国より若いです。日本の法律では、女性は満 16 歳、男性は満 18 歳で結婚できます。しかし、日本では成人年齢は 20 歳です。そのため、20 歳以下の結婚には事前に両親の同意が必要です。

しかし、実際には日本人の晩婚化が進み、結婚する平均年齢は 30 歳前後です。同時に、農村地帯では深刻な「結婚難」に直面しています。中国から来た女性が嫁いで来るケースもあります。

4. 日本的胶囊酒店

大家可否听说过“胶囊酒店”？被叫做“胶囊酒店”，是因为这些酒店的房屋设计与胶囊药粒的形状一模一样。在这种酒店内，长椭圆形的房间内仅有一张床、一台小电视和一盏台灯，只能容下一个人睡觉。洗手间和浴室则全部公用。在东京、大阪等交通便利的地方，这种“胶囊酒店”格外多。

4. 日本のカプセルホテル

「カプセルホテル」って知っていますか？「カプセルホテル」はホテルの部屋のデザインと飲み薬にカプセルの形態が同じなので、このように呼ばれています。長い楕円形の部屋には 1 台のベッド、1 台の小さなテレビ、1 台の電気スタンドしかなく、一人が寝られるだけです。トイレも浴室も

日本の第一家胶囊酒店于1979年在大阪开业，后来经过电视介绍，在日本全国范围内展开。因为价钱只有普通酒店的一半左右，所以格外受那些临时出差的日本工薪族男士欢迎。直到现在，这种极具日本特色的“胶囊酒店”仍有自己固定的客户群。偶尔，也会有受好奇心驱使前来一探究竟的海外游客。

全て共同で使用するものです。特に東京、大阪など交通便利な場所に多くあります。

第一号のカプセルホテルは1979年に大阪に開業し、その後テレビで紹介され、全国的に広がりました。価格が普通のホテルの半分程度なので、出張のサラリーマンに人気です。現在でも日本特有の「カプセルホテル」固定の客層があります。時々、好奇心に駆られて来る海外の旅行者もいます。

5. 100万日元一只的哈密瓜

说起北海道的夏季美味，不得不提到哈密瓜。

哈密瓜是北海道夏季必不可少的一道水果。尤其是夕张生产的“夕张哈密瓜”，更是日本国内的水果名牌。夕张哈密瓜的收获季节为7月至9月之间。每年到收获季节，札幌市内的百货店都会参加夕张哈密瓜的拍卖活动，初次采摘的哈密瓜有时甚至可能会被叫价到100万日元。

北海道还有很多用夕张哈密瓜制成的果冻、冰激凌等，也十分受道民和游客的欢迎。

5. 1玉100万円のメロン

北海道の夏の味覚と言えばメロンを上げないわけにはいきません。

メロンは北海道の夏には欠かせない果物です。特に夕張メロンは日本の果物のブランドです。夕張メロンの収穫期は7月から9月です。毎年メロンの収穫期になると札幌市内のデパートは市内にデパートは夕張メロンの競売に参加します。初めて収穫されたメロンには100万円もの値段が付けられます。

北海道には夕張メロンで作ったゼリーやアイスクリームがあり道民の人気を集めています。

6. 日本的自动售货机

自动售货机几乎已经成为日本人生活中不可缺少的必需品之一。截至2008年底，日本全国的自动售货机数量多达500多万台，日本也以每23人就拥有一台自动售货机的数量位居全球之首。

自动售货机主要以销售饮料、零食和香烟为主，其中饮料售货机的数量约为230万台左右，产品售价几乎与便利店相同。在一些农业区域，偶尔也能看见售卖蔬菜和鸡蛋的自动售货机。

6. 日本の自動販売機

自動販売機は日本人に生活には欠かせない必需品の一つです。2008年末までで日本には500万台以上の自動販売機があり、日本人の23人に一台の割合であるということになり、世界でも一番です。

自動販売機で売られているものは、飲み物や、軽食、煙草が主なもので、そのうち、飲み物用の自動販売機は約230万台です。コンビニでも価格はほぼ同じです。一部の農村では、たまに、野菜や卵を売っている自動販売機もあります。

7. 觀光狐狸

在北海道时常可以见到野生的北狐。这些北狐有时甚至会为找寻食物而出现在路边，或者钻到停车场探出脑袋直接向人类索要吃食。这种狐狸被北海道人俗称为“觀光狐狸”，经常会让游客忍不住用随身携带的零食喂食这些可爱的野生小狐狸。

但实际上，这对野生狐狸的成长并没有好处。因为野生狐狸一旦养成从人类那里获得食物的习惯，自身的捕食能力就会下降。当冬季游人稀少而不得不靠自身力量寻找食物时，将变得格外困难，甚至面临生存问题。

7. 觀光狐

北海道ではよく野生のキツネを見かけます。これらのキツネは時には食べ物を探して道路に出てきたり、停まっている車に頭をつっこんで食べ物を求めるのがあります。こういったキツネは北海道では「觀光キツネ」と呼ばれます。この野生のキツネもそのかわいさでから観光客は持っているおやつなどを与えたくります。

しかし、実際こういったことは野生にキツネの成長にとって良いことではありません。なぜなら、野生のキツネは一度人から食べ物を貰う習慣がつくと、自分で食物を得る能力が低下するからです。冬、観光客が少なくなり、自分の力をたよりに食物を探さなければならないときは、特に困難で、死活問題にもなります。

8. 日本酒

日本酒是世界上少见的“既可以冷着喝也可以温着喝”的酒，一年四季皆可按照自己的喜好进行调配。

按照日本酒税法规定，只有用米制成并且经过过滤手续后制成的酒，才能被称之为“日本酒”。和中国的酒相比，酒精量在16%左右的日本酒度数并不高，与绍兴酒与黄酒相仿，但后劲十足。

此外，根据米种类的不同，日本酒的口味也千差万别。从高级到低级的排位分别是：大吟醸、吟醸、本醸造、纯米酒和普通酒。

经常被提及的“清酒”，实际上是排位最低普通酒，这可能也是海外游客觉得日本酒不好喝的一个原因吧。

8. 日本酒

日本酒は「冷たくしても熱くしても飲める」世界でも数少ない酒で、四季を通じて自分の好みに合わせて配分できます。

酒税法により、米を使い濾過するという手順を経て製造された酒のみを日本酒と呼ぶことができます。中国の酒と比べるとアルコールは16%前後で決して高くはありません。紹興酒や黄酒と似ていますが、日本酒は後味に満々たるものがあります。この他に、日本酒は米の種類が違えば、味も千差万別です。ランクの高いものから低いものまで「大吟醸」「吟醸」「本醸造」「純米酒」「普通酒」に分けられます。

よく言及される「清酒」は実際には最低ランクに位置付けられている「普通酒」で、このことが、海外の観光客が日本酒をおいしくないと感じる原因かもしれません。

9. 如果万一遇到熊

经常听到的一种说法是装死，因为熊对死人没有兴趣。但实际上这个招数未必管用。因为曾有北海道的一名男性在钓鱼时遇到黑熊后采取了装死的办法，结果被熊拽住衣服甩来甩去以确认是否是真死。

还有人说因为熊怕蛇，所以可以甩动皮带让熊误以为是蛇而不敢上前。但实际上熊抵触的是蛇的味道而非体态，所以这个招数恐怕也不会太有效果。

最管用的招数是，将随身携带的东西一件一件地扔在路上，分散熊的注意力。熊是好奇心很强的动物，会被这些东西吸引，趁此机会逃跑才是最可靠的办法。同时逃跑时记得不要跑直线，不要上树，因为体态巨大的熊虽然在跑动时转身比较困难，但却是直线跑和上树的能手。

9. 万が一クマにであったら

よく言われるのは、クマは死んだ人には興味がないので、死んだふりをするという方法です。しかし、実際にはこの方法が役に立つとはかぎりません。北海道で1名の男性が釣りに行ったときにクマに出会い死んだふりをするという方法を取りました。結果、クマに本当に死んだかどうか確かめるために、振り動かされました。

クマは蛇を恐れるので皮ベルトを振り動かすと、蛇がいると誤解させ前に出てこさせないようにすることができるという人もいます。しかし実際、クマが嫌うのは蛇の味であって、体つきではないので、この方法は役に立ちません。

最も効果があるのは、身につけている品物をひとつひとつ路上に投げ、クマの注意力を分散することです。クマは好奇心がとても強い動物なので、こうした品物に注意を惹きつけている間に逃げるのが最も役に立つ方法です。同時に逃げるときに真つすぐに走ってはいけません、木に登るのもいけません。なぜなら、巨大なクマには体の向きを変えるのは難しいことですが、真つすぐに走ることや木に登ることは特意だからです。

10. 冬季服装的准备

“去北海道旅游应该准备什么样的衣服？”这恐怕是令很多游客踌躇的一个问题。

北海道不同地区的气候差异很大，全年气候冷凉湿气较低。旅游多是去山间与水边这些远离城市的地方，所以夏秋时节最好准备一件随时可以外披的单衣。

冬季时更要格外注意，除了厚外套之外，围巾、帽子和手套等也是必不可少的保暖物件。同时需要注意的是，因为房间内的温度设定一般都比较高，所以里面的衣服最好不要穿太厚。

10. 冬の服装の準備

「北海道へ旅行するときにはどのような服装をするべきか？」これはおそらく多くの観光客が迷う問題です。

北海道は地域によって気候の差が大きく、一年を通じて気候は冷涼で湿度は比較的低いです。観光地は都心から離れた山や水辺が多いので、夏や秋でも外ではおれる薄手の服を持っていったほうが良いでしょう。冬はとりわけ注意が必要です。厚手のコート以外マフラー、帽子、手袋は欠かせない保温アイテムです。同時に注意しなければ

就北海道的两个旅游季节而言，12月、1月和2月道央地区降雪较多，十胜和道东地区的平均气温都在0摄氏度一下，此时外出最好“全副武装”同时注意给鞋进行防滑处理；6月到8月期间，白天在市区内可以穿半袖外出，但在山间湖畔游玩以及傍晚外出时，最好多穿一件薄上衣。自8月中旬起气温会骤然下降，长袖是最合适的装扮。

ならないことは、一般に室内の温度は高く設定してあるので、室内では厚着しすぎないことです。

北海道の旅行シーズンについて言えば、12月、1月と2月は道央地区では降雪量が比較的多く、十勝と道東は平均気温が摂氏0度以下になるので、この時期外出するときは全部揃えた全身武装で行くのが良いでしょう。同時に靴に滑り止めをつけなければなりません。6月から8月は、日中は半袖でも外に出られますが、山間部や湖畔に遊びに行く時や、夜間外出時は薄手の服を1枚着た方が良いでしょう。8月中旬から気温は突然低くなるので、長袖を着るのが適切でしょう。

11. 北海道民的冬季防滑靴

从12月到次年3月，大多数北海道人都穿专门的“冬靴”外出。

所谓的“冬靴”，是指那些鞋底花纹较深，经过特殊防滑处理的鞋。北海道冬季路面湿滑并且积雪较多，普通的鞋底很容易滑倒。所以在机场或者JR车站等地方，都有销售绑带式、或者一次性黏贴式等防滑鞋底，价格大概在500日元到1000日元之间，对游客来讲十分方便。同时，一些鞋店也提供专门的防滑鞋底加工服务。

当然防滑鞋底也并非万无一失，冬季行走在北海道的路上，一定要注意尽量迈小步伐，并且踩实每一步。

11. 北海道民的冬の滑止め靴

12月から翌年の3月まで、大多数の北海道民は専用の「冬靴」を履いてでかけます。いわゆる「冬靴」とは靴底に深い溝がある、「滑り止め」処理を施した靴のことです。空港やJRの駅では滑り止のベルトや一時的な粘着式靴底が売られており、価格は500円から1000円の間で、観光客にはとても便利です。同時に、一部の靴店では滑り止め加工のサービスを提供しています。

もちろん、滑る止めの靴底は十分に確かなものであるというわけではないので、北海道では冬に道を歩く時、できるだけ小股で一歩一歩しっかりと歩くように注意が必要です。

12. 寺庙、神社和教堂

不知道大家是否还记得电影《非诚勿扰》中葛优见庙就拜，结果误闯入黑社会葬礼的镜头。这个片段其实也反映出日本人的一个文化习俗——在寺庙办葬礼。

婴儿出生时去神社参拜；成年后在基督教堂举行婚

12. 寺院、神社、教会

映画「狙った恋の落とし方。」の中でグー・ヨウがお寺を見てからすぐに参拝し、結果ヤクザの葬式に闖入してしまった場面を覚えているでしょうか。この場面は日本人のひとつの文化と風習を反映していま

礼；死后在佛教的寺庙办葬礼——多种宗教习俗混杂在一起，对日本人来说并不算新鲜事。在日本，神教与佛教共存已被一般日本人广为接受。大多数日本人，在人生的不同时期，都会拜访神社和寺庙两个地方。此外，基督教等外来宗教的影响也对日本文化有不大不小的影响。

す。お葬式をお寺で行う日本人の文化風習を反映しています。

日本人は、赤ちゃんが生まれたときは神社で参拝をし、大人になったら教会で結婚式をおこない、死んだら仏教の寺院で葬式を行います。日本人にとっては多くの宗教や風習が混在するのは珍しいことではありません。日本では、神道と仏教の共存は広く日本人に受け入れられています。大多数の日本人は人生に異なる時期において神社と寺院の両方を参拝します。この他、キリスト教など外来の宗教も日本の文化に大小の影響を与えています。

13. 温泉入浴规则

温泉是火山带给日本最好的礼物。日本人视泡温泉为生活的一大享受，因为泡温泉的规矩和讲究也格外多。“入乡随俗”，遵守如下这些规则，泡温泉的时候说不定会感觉更惬意。

- 进入浴池前，首先要先在池外将身体冲洗干净；
- 冲洗时请一定坐在水龙头的凳子上冲洗；
- 进入浴池后，可将毛巾放在浴池边或褶起来放在头顶上，但请不要将毛巾放入温泉池内；
- 不可在温泉池内使用香皂或洗发液；
- 穿浴衣时，请一定将浴衣的左襟压在右襟之上。因为反方向是葬礼时已故人的服装穿法。

13. 温泉に入るときのきまり

温泉は火山帯が日本にもたらした贈り物です。日本人にとっては温泉に入ることを生活の中の大きな楽しみの一つです。このため、温泉に入る時に守らなければならないルールが沢山あります。「郷に入ったら、郷に従え」以下のきまりを守れば、より気持ちよく温泉に入れるかもしれません。

- 湯船にはいる前に、まず湯船の外で体を洗って清潔にする。
- 体を洗い流す時、必ず水道の前の椅子に座る。
- 湯船に入ったあとは、タオルは湯船の周りに置か頭に載せる、但し、タオルは温泉の湯船に入れない。
- 温泉の湯船の中で石鹸を使って体洗いしてはいけない。
- 浴衣を着る時は左の襟を右の上に出す。逆にすると、葬式の時、亡くなった人に着せる時の方法になる。

14. 不会砍价的日本人

14. 値切らない日本人

世界各地都认识是理所当然的“砍价”行为，在日本人看来却是不可思议的一件事。

这与日本的商品价格规定有很大关系。因为同样的东西，无论是在日本的哪里价格差异都不会很大，有些价格甚至是一模一样的。比如最受游客欢迎的“白色恋人”饼干，无论是在机场还是在室内的普通商店，价格几乎没有差别。这也逐渐养成了日本人买东西不讨价还价的习惯。

不过最近或许与经济状况有关，开始尝试在电器店等地方讨价还价的日本人逐渐增多，电视媒体上也会传授一些如何讨价还价的窍门，但更多的日本人仍然不习惯在别人面前就价格进行争执，砍价时会觉得“不好意思”。

世界の何処に行っても、値切り行為は、当たり前のことです。しかし、日本人にとっては、理解できない不思議なことでされています。これは日本の商品価格の設定状況と大きな関係があります。なぜなら同じ物であれば、日本のどこに行っても値段の違いがほとんど無いか、あるいは全く同じなのです。例えば、観光客からの人気も最も高いお菓子“白い恋人”は、空港であろうと、普通の屋内商店であろうと、値段に差は全くありません。こうして日本人は買い物をする際に値切らないという習慣を徐々に生み出してきたのです。

しかし、最近は経済状況の関係からか、電器店などのお店で値切りを試す日本人が徐々に増えてきています。テレビメディア上でもどう値切るのかのコツを教えるようになっています。しかし多くの日本人は依然として人前で値切ったり、言い争いをすることになれていません。値切っている時は、どうしても“決まりが悪い”と感じてしまうのです。

15. 不喝白开水与不剩吃的日本人

去日本的餐厅吃饭，即使在冬天，服务员最先端上来的往往也可能不是熟悉的热茶，而是一杯冰凉凉的水。

这并非自己运气不好误撞进了服务态度冷淡的店。而是因为在日本，无论高级酒店还是街边小馆，为客人送上一杯冰水几乎已成为服务的第一步。在日本人看来，冰冰的凉水是一种很好喝的东西。同时日本各处没有提供热开水的习惯，在日语中开水与温泉水都被叫做“汤”，大多数日本人除非身体不适，否则几乎没有喝开水的习惯。

此外，日本人在外出就餐或者到别人家做客时，一定会把自己的食物吃得干干净净，因为剩下食物是对做

15. 白湯を飲まず食べ残しをしない日本人

日本のレストランに食事に行くと、例えば冬でも、店員はまず初めに、お茶ではなく、冷たい水を持って来ます。

これは決して運が悪く、サービス態度の悪い店に間違っって入ってしまったからではありません。日本においては、高級なホテルであろうと街角の定食屋であろうと、お客様に出すお冷は、サービスの第一歩である基本的なことなのです。日本人から見れば、冷たいお冷は、美味しい飲み物なのです。同時に、日本のどこに行っても、お湯を提供する習慣はありません。日本語では、沸かした水も温泉も、“湯”と呼ばれています。多くの日本人は体の調子が悪くない限り、お湯を飲むことはほとんどありません。

饭或者请客人的一种不礼貌——这与中国人略微剩些食物，以表示“您预备的食物很丰盛”的习惯正好相反。

ん。

また、日本人は外出して食事をしたり、もしくは他人の家に招待された際は、必ず出された食べ物をすべて残さず食べます。なぜなら食べ残しをすることは料理してくれた人、もしくはお客として呼んでくれた人に失礼になるからです。——これは中国人が料理をわずかに残すことによって、「あなたが準備してくださった料理は十分な量でしたよ」と相手に伝える習慣とまったく正反対のことで。

16. 喜欢排队的日本人

餐厅、收银台、电梯间、洗手间、ATM 等地方，经常有需要排队等候的情况。在日本，大家默不作声地排队一个小时甚至更长时间，几乎已成为生活中常见的一景。以至于在外国人看来，日本人似乎格外喜欢排队。

这是因为日本人从孩童时代起，就不断地被灌输“遵守集体生活的纪律，安静地按顺序排队等候”的思想。而餐饮店和娱乐设施前，等候队伍的长短也成为一般人判断此处人气高低的标准之一。但最近，不愿意排队等候的日本人也越来越多。不过整体而言，相比于其他国家，日本仍然可以说是一个喜欢排队的国家。

16. 並ぶのが好きな日本人

レストラン、レジカウンター、エレベーター、お手洗い、ATM などの場所では、常に列に並んで待たなければならない状況に出くわします。日本では、1時間、もしくは更に長い時間を、誰もただ黙って並んでいます。それは、通常の生活においてよくある光景となっています。外国人は、日本人はまさに列に並ぶことが、好きな人達であると思うでしょう。

これは、日本人は、子供の頃から絶えず、集団生活においての規律を守り、静かに順番通りに並ばなければならないという教養を叩き込まれているからです。レストランや娯楽施設の前において、列の長さは人気があるのか無いのかを判断する尺度の一つにさえなっています。しかし、最近では並んでまで待ちたくないと思う日本人も増えてきています。しかし全体的に言って、その他の国家と比べると、日本は依然として並ぶのが大好きな国なのです。

17. 女中学生的迷你制服裙

日本学生上学时必须身穿制服。既为表明学校所属，也可以使同一学校的学生不会因为家庭经济状况不同，而导致服装上有太大差别。此外，因为日本 20 岁

17. 女子中高生のミニスカート制服

日本の中高生は、登校の際は必ず制服を着なければなりません。学校に所属していることを表すためでもあり、また、同じ学校の生徒が家庭の経済状況の違いによっ

以下的未成年人不可吸烟饮酒，所以身穿校服，也能起到随时被社会监督的作用。

但对于年轻爱美的女孩子而言，墨守成规的制服显然“不够可爱”，尽量让制服不像制服的办法，则只有调整短裙的长度。在北海道，即使是气温在零度以下的冬天，也经常可以看到身着迷你短裙的女中学生。以至于日本人自己也经常会说，虽然北海道温度低于本州，但北海道女生的裙子长度却完全不输给本州。

て、服装に大きな違いが出てはならないという理由からです。さらに、日本の20歳以下の未成年はタバコと飲酒は禁止ですから、そのため制服を着ることによって、随時社会から監護されるという効果があるのです。

しかし、おしゃれ好きの若い女の子にとっては、古臭く窮屈な制服は明らかに“可愛くない”ため、出来るだけ制服を制服らしく見えないように工夫します。とは言え、結局はミニスカートの長さを調節するだけなのです。

北海道では、例え気温が零下まで下がった冬の日でも、常にミニスカートを穿いた女子中高生を見かけることができます。日本人でさえもよくこう言います。「北海道は気温では本州より低いが、北海道の女子中高生のスカートの長さは決して本州に負けることは無いよ」、と。

18. 越来越少的街边垃圾箱

来日本旅游的中国游客往往会有日本垃圾箱太少的感觉。这是因为按照日本的相关规定，垃圾箱的管理清扫，必须由设置地的区役所等地方相关机构来负责，同时还需要有大量的清扫力量。但因为目前投入垃圾箱清理方面的预算减少，所以相应地垃圾箱的数量也越来越少。加之近几年为预防恐怖事件发生，很多地方甚至干脆放弃了设置垃圾箱。

18. ますます減少する街頭のゴミ箱

日本へ観光に来た中国の観光客は、ともすれば、日本はゴミ箱が少ないと感じることでしょう。これは日本の関連する規定によって、ゴミ箱の管理清掃は、必ず設置された場所の区役所等の地方関連機関が責任を負わなければならない、同時に、多くの清掃コストが必要とされているからです。さらに、目下ゴミ箱の清掃方面に計上される予算が削減されているため、それに相応するように、ゴミ箱の数もますます減らされてきているのです。加えて近年テロなどの凶悪犯罪の発生を防ぐため、手っ取り早くゴミ箱の設置自体を止める場所も増えています。

19. 日本电压为什么是100伏？

日本电器产品全球知名，但很多东西却“只能看不

19. 日本の電圧はなぜ100V

日本製の電化製品は全世界に知れ渡ってい

能买”——这是因为日本的额定电压是100伏。如果没有变压器，很多日本产的电器产品在中国220伏电压的环境下是无法使用的。

据说这是因为在明治时代，受自身技术发展的限制，日本从世界很多国家输入了发电机，导致出现不同地区使用不同电压的现象。1914年，日本政府决定统一电压。当时，日本很多家庭使用的电灯泡的电压是100伏。而且因为当时的电灯泡还属于高价商品，所以为了延长电灯泡的使用年限，日本政府将电压统一设定成了100伏，并且沿用至今。

不过现在随着科技进步和日本一些大品牌的全球化发展，很多电器的额定电压都设置成为了100~220伏，基本不会影响正常使用。

ます。しかし多くはただ「見るだけで買うことはできません。」——なぜならそれは日本の規定の電圧が100Vであるからです。もし変圧器が無かったなら、多くの日本製の電化製品は中国の220V電圧の環境下で使用することはできません。

それは、明治時代、日本は、国内の技術には限界があったので、世界の多くの国から発電機を輸入し、その結果、異なる場所で異なる電圧が使われるという現象が起きました。1914年日本政府は電圧を統一することにしました。当時、日本の家庭で使われていた電球のこれは1920年代に電圧を設定する際に、当時、多くの日本で使用されていた電灯は100Vでした。しかも、当時は電球が高価な商品だったので、電球の使用年限を長くするために、日本政府は電圧を100Vに統一することに決め、それが現在にまで至っています。

ただ現在科学技術の進歩と日本の有名電器メーカーのグローバル化により、多くの電化製品の規定電圧が100~220Vに設定されており、基本的には通常の使用においては影響が見られなくなりました。

20. 餃子不是主食而是菜。

饺子是从中国传入日本的一道菜肴。但经过日本人的演化，日本饺子与中国的“原装饺子”相比已发生了很大变化。首先，日本的饺子皮几乎都是机器制成的；其次，“饺子”这个词对日本人而言，意味着“煎饺”而不是中国人习惯的水饺。另外因为饺子中有菜有肉，所以在大多数日本人的观念中，饺子是配菜而不是主食。在一般的日本餐馆中，经常可以看到边吃饺子边吃米饭的日本人。

20. 餃子は主食ではなくおかず

餃子は中国から日本に伝わった料理です。ただ日本人により手が増えられ変化し、日本の餃子は中国本来の餃子と比較すると、大きな違いが生じています。まず日本の餃子の皮はほとんど機械によって作られています。さらに、“餃子”この言葉は日本人にとっては、焼餃子を意味しますが、中国人にとっては、昔から食べ慣れている水餃子のことなのです。また餃子の中には肉や野菜が含まれているため、通常の日本のレストランにおいては、餃子を食べながら、ご飯を食べている日本人を日常的に見かけることが出来るでしょう。

21. 为什么在日本经常要脱鞋？

“为什么要脱鞋？”这可能是外国游客来到日本后最容易提出的疑问之一。餐馆、商场试衣间甚至观光景点，日本很多地方都会要求到访游客脱鞋。

在公共场所脱鞋——这种在中国以及欧美等国家被认为极不礼貌的行为，在日本却被认为是极其寻常的举动。这是因为日本大部分地区高温多湿气，长时间穿鞋容易滋生脚气等疾病，偶尔脱鞋换气可降低换脚气的几率。

另外，传统的日本家庭都是榻榻米设计，这也养成了日本人进门脱鞋的习惯。北海道虽然气候条件与本州不同，但作为一种文化沿袭，脱鞋的习惯也流传到了北海道。

21. なぜ日本ではいつも靴を脱ぐの？

「なぜ靴を脱がなければならないの？」これは外国からの観光客が日本に来て最も疑問に思うことの一つでしょう。レストラン、衣服店の試着室、ひいては観光地でさえも、日本の多くの場所では、観光客は靴を脱ぐように求められます。

公共の場所で靴を脱ぐことは、中国や欧米等の国々においては、一種の極めて失礼な行為と見なされていますが、日本においては、逆に極めて自然のふるまいであるとされています。これは日本の多くの地域が高温多湿で長時間靴を履いていると水虫などの病気を引き起こすため、たまに靴を脱いで、外気に当て乾燥させることによって水虫に罹る危険性を下げることが出来ません。

さらに、伝統的な日本の家庭にはみなが備え付けられており、これが日本人の家に入ると靴を脱ぐ習慣を養いました。確かに北海道は気候条件が本州とは違うのですが、一種の文化踏襲として、靴を脱ぐ習慣は北海道にも伝わったのです。

第6章 先輩通訳案内士の体験談

〔1〕私の失敗談

1. 「中国でも子どもは宝」 — 子どもの安全確保と楽しさの演出は旅の成否に直結する

一人っ子が多い中国では、日本にも増して「子どもは宝」である傾向があります。ある若い夫婦と姉弟の4人家族をアテンドした日のことでした。子どもは初めて見る雪景色に大喜び。特に、小学校低学年の男の子はとて興奮しています。

ある観光地の小屋の軒先にたくさんのつららが下がっていました。私は男の子に一本つららを取ってあげたところ、男の子は案の定、大喜びでした。

ところが、その男の子の両親はものすごい剣幕になって男の子に近寄り、つららを取り上げてこう言いました。「怪我をするのでこんな危険なものを子供に渡さないでください。」喜んでくれるだろうと思ったことがまったくの裏目に出てしまいました。

子ども連れの家族は、子どもが中心になります。親たちも「子どもたちが楽しんでくれれば旅行は大成功」と思っている節もあります。できれば、親の心配事を先読みし、子どもたちを楽しませる演出をどのように工夫するかで、お客さんの満足度も変わり、旅の成否の直結する場合もあると感じました。

2. 「バスの席換え」 — 参加者の見えない不満を感じ取ろう

バスはきれいな景色のなかを順調に走っていました。「わーあ、きれい！」と感激の声があちこちから聞こえる中、前の方に座っているひとりの女性が不機嫌そうです。

バスを降りたときに「お気分でも悪いですか？」とその女性に聞いてみたところ、このような答えが返ってきました。「添乗員さん、なんで教えてくれなかったのですか？きれいな風景は、いつも私の座った席の反対側ばかりじゃないですか。」

なるほど、想定外のクレームですが、日によって席替えをすることで、参加者同士の不平等感を解消する工夫もできたと後から思い直しました。

3. 「自助餐」 — 食事内容の事前確認のススメ

先輩から「中国人の食に対するこだわりは相当なものだよ」と戒められたことがあります。例えば、こんなことがありました。午後の観光を終えたバス内で、夕食の内容はどんなものを食べるのかを聞かれました。

夕食は、温泉ホテルでのバイキングであることまではわかっていたのですが、バイキングの内容にどんなものが出てくるのかまでは調べていませんでした。とりあえず、ここのバイキングはホテルも自慢とするくらい、種類が多く、内容豊富、味も良いとの評判だったので、何の心

配をすることなく「夕食はお泊りのホテルでの“自助餐”です」という説明しました。

ところがどっこい「食事に期待しているのに、なぜ“自助餐”なんだ！」というクレームになってしまいました。どうやら“自助餐”という言葉の響き自体が高級感を感じさせないらしく、「夕食のメニューに期待ができない」と感じさせてしまったらしいのです。もっと、食事に対して事前の確認を具体的にしておけば、“自助餐”を納得していただけたのになあと思っても後の祭り。せめて「まずバイキング会場に入って実際に料理内容を見てからどうするか決めませんか？」と提案すればよかったなあと思いました。実はバイキングには、お刺身やてんぷら等のほかにも豊富な料理内容で、中国人団体からも人気の食事場所だったのです。

結局、お客様はホテル内の別の日本料理店で、自費で食事をされましたが、「日本料理屋で頼んだ懐石料理、値段は高いし、あまり口に合わなかった」と言っていました。

残念。

4. 食事手配の失敗 — 突発的な依頼に対応するためのリストを作っておこう

前日の夜遅く成田に着いた団体が、今日昼過ぎに北海道に着くことになっていました。もともとの団体は、成田空港で昼食を軽く済ます予定でしたが、「自費でかまわないから、北海道でちゃんとした食事をしたい」という要望が出ました。

急遽、食事場所を自分で手配することになったのですが、「空港近くの人気のお店」として、安直に中華料理のファミリーレストランの席を予約したのです。しかし、お客様にとって、日本で最初の本格的な食事が中華料理な訳ですから、がっかりさせてしまったようです。もう少し、事前に食事場所のレパトリーを増やしておいて、どのような突発的な依頼でも対応できるように、千歳周辺の人気食事場所のリストを作っておけばよかったなあと思いました。

5. 台風の日々の失敗 — 臨機応変なスケジュール変化に対する備えのススメ

北海道日程の最終日、台風が北海道に迫っていました。明日には東京から中国に帰ることになっています。「飛行機が飛ぶかどうかは状況次第です」という航空会社からの情報に不安になった参加者は、「午後の観光はやめて、とりあえず空港に行ってみよう」ということになりました。

さて、いざ空港に着いてみると飛行機は順調に飛んでおり、その不安は杞憂に終わりました。予定のフライトまではまだ4時間もあります。結局は空港で時間つぶしをするハメになってしまいました。

よくよく考えてみると、空港近くのショッピングセンターや、空港内でリラックスできる場所に案内するなど、臨機応変なスケジュール変化に対応できるように、もっと備えをしておけば、台風のような突発的な事態にも、もっとスムーズにご案内できたのにと悔やまれます。

6. 同じ名前のホテル — まぎらわしい名前でもステイク

今はもう無いのですが、以前ニセコには、「ニセコ“東山”プリンスホテル」と「ニセコ“ひらふ”プリンスホテル」がありました。しかしながら、その当時、そんなことは露知らず、行程表どおりの「ニセコ“東山”プリンスホテル」にお客様をお連れしました。

ところがどうでしょう！フロントから「予約名の中にお客様たちの名前が無い」と返答をされ、私もお客さんも大慌て。

調べること数十分。結局は旅行会社の手配ミスで「ニセコ“ひらふ”プリンスホテル」にすでに代金が支払われていました。私の反省点は、未然にこの手配ミスを発見できなかったことです。事前に独自にホテル側に確認の電話を入れていれば、現地でゴタゴタせずに済んでいたものでした。また、似た名前のホテルが近くにある場合は、旅行会社に間違いを指摘できたのにと教訓になりました。

7. 大きな帽子 — 人数は必ず一人ひとり指差し確認

大きな帽子をいつも被っているお客様がいました。私はそれをその人の目印にしていました。ある観光地から出発する際、バスで人数確認を始めたところ、一番後ろの席にその帽子が見え、私は「ああこの人はいるんだな」と思い、全員いることを確認したつもりでいました。

「さあバスを出発しましょう。」とドライバーさんに声を掛け、まさに出発しようとしたところ、その帽子のお客様の隣のお客様から「まだ隣の人が来てないよ！」と声を掛けられました。その大きな帽子は座席の後ろに掛けられていただけで、お客様本人はまだバスに乗っていませんでした。慌てて車をとめて探しに行くと、そのお客様はまだのんびりショッピング中でした。まったく肝を冷やしました。人数確認は慎重に。

8. 中国からのエスコートさん — 面子を立てて味方に付けよう

団体ツアーには、中国からエスコートさん（領隊、随員）と呼ばれる方が同行してきます。中国の旅行社からの添乗員という位置づけですが、北海道についてはお客さん同様あまりよく知らないがゆえ、実際は私を全面的に信頼してくれて、あれこれと注文を出さない方がほとんどです。

しかし、エスコートさんの中には、幾ばくかの知識をお持ちで、いろいろと細かいことに口を出して来る場合があります。とりわけ、我々通訳案内士との間にまるで主従関係があるかのように振舞う人には高圧的な人にはさすがに閉口します。「あれは駄目。これは駄目」といろいろと注文を付けてきますが、実際のお客様たちは、そんな要求や不満を持っていない場合もあります。

例えば、こんなことがありました。静かな宿泊ホテルの食事会場で、その場の雰囲気にも似合わず、大声を張り上げてあれこれ注文をつけてきます。「私は一生懸命仕事をしています」とアピールしたいのか、すっかりしらけてしまいました。

こんなエスコートさんと一緒になった時にどう対処するか。いやはや、困った問題です。ただ

し、そこは中国人。何より面子を大事にするお国柄。まともに対決したのでは、問題が大きくなるだけで何の解決もできません。一度「彼のおかげで団体の危機は救われた」ような演出をしてあげたら、面目が保たれるかもしれません。その時に「ここは日本です。中国とは習慣が違うので、声の大きさをちょっと小さくした方が紳士的ですよ」などと、こっそりアドバイスしてあげるのも秘策です。

反対に、こんな人を味方に付けると、その責任感の強さがゆえ、あなたへの信頼感が増し、ツアーを成功させる近道になるかもしれません。

9. 感覚の違い — 日本人、北海道人の代表としての意識

北海道外から来る日本人ツアーは、言葉の壁がなかったり、今まで何度も来たことがあるがゆえ、注文がうるさく感じる事が比較的多いように感じます。

無理難題、理不尽な要求を求められたり、バスの中でガイドの案内がうるさいと怒られたり、ドライバーの運転が荒いと怒られたり……。ホテルでは、部屋が狭いとか、仲居の対応が遅いとか、料理がまずいとか、温泉がぬるいとか……。やっと布団に入ったと思ったら、今度はお客様が温泉で滑って怪我をしたと夜中に電話で起こされたり……。日本人相手のツアーも、添乗に出れば「本日の業務は終了致しました」などという時間はないくらいタイヘンです。

中国人観光客も同じように大変かもしれません。初めての日本旅行。初めての北海道旅行。いろんなことにいろんな期待を持ち、理想とイメージを持ってくると、「もう勘弁してくれえ～」と言わんばかりの要求に閉口してしまうかもしれません。

確かに、あなたにとっては、いつもの仕事。もう何回も周って見た場所でしょうから、どの観光地へ行っても新たな感動もないでしょう。しかし、お客様にとっては、海外旅行は、年に一度、もしくは、一生に一度あるかないかのイベントなのです。

こんなとき、「あなたとおお客様の感覚に違いがある」ということを決して忘れないようにしましょう。中国人観光客にとって、あなたが日本人の代表、北海道人の代表です。「添乗員の良し悪しが旅行の楽しさの70%を決める」とも言われるくらい重要な役割があるのです。「北海道の人はあたたかくて、みんないい人だ。」それはあなたのことを言っているかもしれません。

10. 誤訳こそが名訳 — ことばの仲介士は文化の仲介士

北海道の中国語通訳案内士は重要な役割を担っています。初めて北海道に来る中国人に、ファーストインプレッションを与えるのですから。当然、言葉が違えば、文化・習慣も違います。観光の話ではありませんが、通訳として私が尊敬しているエピソードを2つご紹介します。

(1) ある日本のテレビの料理番組に、フランスの俳優アラン・ドロンがゲストに来て、ブイヤベースを注文しました。そして、一口食べた後、「何だこれ、食べたもんじゃねえぞ」って言ったのだそうです。しかし、そこにいた通訳は、すかさず「美味しいけど、私がいつも食べ

ているものとは味が異なりますね」とあえて誤訳したのです。それを聞いた番組出演者は大喜びで、番組収録も大成功で無事終わったのだそうです。

これは機転の利く、すばらしい通訳だとされています。もし正確に訳していたなら、出演者もTV局も不快に思うだろうし、アラン・ドロンの日本での評判も落ちていたはずです。外交や会議では発言内容に忠実な通訳が必要ですが、こういう場合は番組が盛り上がるように、上手な訳をすることこそが名通訳だと私は思います。

確かに、通訳ガイドとして、実際にいろんな現場に立つ私も、そのまま訳さない方が良いと思う状況によく遭遇します。こんな時、私はいつもこのアラン・ドロンの誤訳のことを思い出します。そして誤訳だけれど名訳になるようなそんな通訳ができるよう日々努力をしています。

(2) 通訳業界ではカリスマと呼ばれていた、ロシア語の同時通訳者で作家の故米原万里さんの著作に、こういうエピソードあるのでご紹介します。

アルメニアと紛争真最中のアゼルバイジャンに、あるVIPが招かれた時のことです。そのお客様は、まったく当時の両国間の現状を知りませんでした。そのVIPにコニャックが提供されました。コニャックと言えばアルメニアコニャックが世界的にも有名ですから、「アルメニアのコニャックは最高だね！」とアゼルバイジャンの人達の前で言ってしまったのです。ところが、そのコニャックはアゼルバイジャン産のコニャックで、それをアルメニア産だと勘違いしてしまったようなのです。この時、米原さんは「アルメニア産のコニャックもおたくのには敵いませんね」と敢えて誤訳し、その場を壊すことを回避させたと著作で回顧されています。

通訳としては、原則として内容に忠実に訳すべきですが、民族問題のような、複雑な問題が絡む時はあえて誤訳した名訳だと思います。日本と中国の関係も、民間レベルでは非常に友好的だと思います。しかしながら、外交上、両国間には沢山の問題が存在しているのも事実です。もし、このような微妙な話題が出た時は、しっかり配慮して通訳することが、楽しい旅行を演出する重要な役割を持っています。

〔2〕ベテランバスガイドさんへのインタビュー

通訳案内士が、日本人のお客さんから大人気のベテランバスガイドさんに聞きました。

—— ガイドとしての基本的な心がけとは？

「そうですね。ガイドをしている間は、いつでもニコニコ笑顔を保ち続けるように心がけています。ずっと見られているわけですから、表情が曇ったりすると、『何かあったかな？』と想像させてしまいますから…。」

「それから、できるだけマイクを置かずに、いつもマイクを持って話をしていることも心がけています」。

「あと、すべてのお客さんの顔を覚えましょう。それがお客さんとのコミュニケーションの第

1 歩です。最初の 1 時間で『この人はどんな人かな?』と考えながら覚えましょう。

「目線をバスの後ろに配って、後ろの座席の人にも話しかけましょう。後ろの人にはガイドの話が聞こえていないこともよくあります。『後ろの人、聞こえていますか?』等と声掛けを試みるのも良い方法です。ガイドからは後ろのお客さんがよく見えなくても、後ろの座席が高くなっているので、後ろのお客さんからはガイドのことをよく見えています。バスの雰囲気を保つためには、前のお客さんとだけで話をしているような雰囲気を出さないことが大事です。」

—— 事前準備はどうされていますか?

「なんと言っても、日頃からの勉強が大事です。メモ帳をいつも目の前に置きながらテレビを見て、北海道に関係あるニュースをメモするように習慣づけています。新しい情報・知識をどんどん吸収して、話題を豊富にしておくことで、どんな話題にも突っ込んでいくことができます。」

「それと、お客様の出身地に関する知識・情報を、事前に入念に下調べします。お客様の出身地の特徴を事前に掴んでおけば、『どちらからいらしたのですか?そこは〇〇が有名ですよね』というような話題ができ、お客様との会話のきっかけになります。故郷の話は、お客様からの親近感を持ってもらえる良い話題になるんですよ。」

—— ガイドとして必要な資質ってありますか?

「誠意です。誠意を持って頑張っている姿をお客様に見せましょう。新人だからといって甘えは認められません。真剣に頑張っていれば必ずお客様は評価してくれます。」

「そして自信です。自信を持って堂々と話をしましょう。外国語を話すことはもちろん、観光地情報やいろいろな知識・雑学を知っていれば、それがさらに自信になります。」

「知識やお客様との対話力以外にガイドとして必要な資質は、親切心、思いやりのこころ。例えば雪が降って滑りやすいときは、『足元にお気をつけください。』と声掛けをする等、いつもお客様の立場に立ったガイドを心がけましょう。」

—— 具体的なガイドテクニック（話を膨らませるワザ）があれば教えてください。

「自分が興味のある分野に話を持っていくと、話を膨らませるのが楽になると思います。」

「食べ物ネタは万国共通、興味を持って聞いてくれます。例えば、チョコレート、酒等の名産品について説明したら、それを作っている会社の創業者の経歴、人となりについて言及したりすることと話がさらにもっと膨らみますね。」

「話しに耳を傾けてもらう秘策は『クイズ形式』にすることです。『何だろう?』って考えさせておいて、ちょっと意外な答えだったりすると退屈な雰囲気にスパイスを効かせられます。」

—— あらためて、ベテランの地道な努力に心を打たれました。ありがとうございました。

第7章 通訳準備のための参考サイト

北海道観光振興機構

<http://www.visit-hokkaido.jp/>

北海道観光振興機構は、北海道各地の観光情報を集約した情報や、諸外国向けのウェブサイトがあり中国語版のサイトもあります。

ガーデンアイランド北海道

<http://www.gih2008.com/>

「ガーデンアイランド北海道」活動として、全道の公園や庭園、景観地域など 127 か所(2009年度)の会場が登録され、北海道における花と緑のネットワークづくりを進めています。

シーニックバイウェイ北海道

<http://www.scenicbyway.jp/>

“みち”をきっかけにつながった地域の人たちが主体となり、行政と連携して美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行っています。2008年3月現在8つの指定ルートがあります。地元の人たちと交流できる「イベント情報」を随時更新中。

北海道遺産

<http://www.hokkaidoisan.org/>

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。2004年に第2回選定され、北海道遺産は総計52件となりました。

ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト

<http://www.hokkaidoisan.org/muranotakara/>

「北海道遺産」に含まれなかった自分の「ムラ」に眠っている「宝物」を応募し、登録するプロジェクト。

北の道ナビ

<http://northern-road.jp/navi/>

移動時間を検索するプログラムをはじめ、道路に関するさまざまな情報が集約されています。各市町村にある「カントリーサイン」などの情報も掲載されています。

北海道立林業試験場（

2010年4月より北海道立総合研究機構・森林研究本部）

<http://www.fri.hro.or.jp/>

北海道の木々や花、野鳥などについてのさまざまな情報が掲載されています。

ホクレン

<http://www.hokuren.or.jp/>

北海道の農畜産物についての概要などが紹介されています。

北海道ぎょれん

<http://www.gyoren.or.jp/>

北海道の水産物についての概要などが紹介されています。

北海道バス協会

<http://www.hokkaido-bus-kyokai.jp/>

道内の各バス会社へのリンクが掲載されています。

北海道宝島旅行社

<http://h-takarajima.com/>

北海道内のアウトドアやクラフト、スクール、グリーンツーリズムなどの体験型観光プログラムをカンタンに検索できるサイトです。

これきてドットコム- 北海道旅行観光の服装質問箱

<http://collekite.com/>

北海道旅行にくる観光客に対し、現地にはどのような服装がふさわしいかについて紹介するための情報収集に活用できるサイトです。